

秋田のこくほ

2017

1

No.682



CONTENTS

②…年頭のご挨拶

③…国保制度改善強化全国大会が開催

④…保険者紹介 三種町
豊かな自然と大地の恵み、心ふれあう
協働のまち

⑥…連合会 TOPICS

⑧…美味しく低カロリー「コクホ食堂」お弁当編

今月のテーマは「正月太りを早めにリセット」

公益社団法人秋田県栄養士会

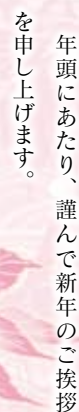
資料統計はホームページから

秋田 国保 検索

<http://www.akita-kokuhoren.or.jp>



理事長 ^か加^{とう}藤 ^{かず}和^お夫



保険者並びに関係団体の皆様方におかれましては、国民健康保険事業の健全な運営にご尽力いただいていることに深く敬意を表しますとともに、平素より、本会の事業運営に対し格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国民健康保険は国民皆保険体制の基盤として、地域住民の健康の保持増進や地域医療の確保に長年にわたる貢献してまいりましたが、高齢者の加入率が高く、所得水準が低いといった構造的課題に加え、近年は高齢化の進展や医療の高度化により医療費が年々増加し、国民医療費の総額が8年連続で過去最高を更新するなど、国保運営は依然として厳しい状況にあります。

こうした中、平成27年5月に国民健康保険法の一部改正が行われ、県が財政運営の責任主体となり、国保運営の中心的な役割を担う一方、市町村は資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収、保健事業等の地域住民に對するきめ細かい事業を引き続き担うこととなりました。

しかしながら、国保の都道府県単位
化に向けた財政基盤強化のための財政
支援として平成29年度から追加投入す

とっていた1, 700億円について、

高齢者医療における後期高齢者支援金の全面総報酬割の実施に伴い生じる国の費用を優先的に活用するとしていたものの、消費税率10%への引き上げ延期等を理由に、厚生労働省は平成29年度においては300億円削減し1,400億円とする見直し案を提示しており、今後の動向に注視していかねばなりません。また、平成29年夏前にはこの支援金の配分方法を決定することとしており、その後都道府県と市町村が実質的に納付金・標準保険料の検討・調整に入ることになるなど、本年は制度施行を目前に控え、非常に重要な年であります。

本会といしましては、引き続き県・市町村並びに関係団体との連携を図りながら新制度施行に対応するとともに、保険者の負託に応えるよう、審査支払業務の充実、保険者事務共同処理の推進と医療費適正化に向け効果的な保健事業の推進に努め、適正な事業運営と業務の効率化に、役職員一同、より一層取り組んでまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が実り多き年となりますことをご祈念申し上げます。

新年のご挨拶いたします。



理事長 八峰町長 加藤和夫

副理事長 能代市長 齊藤滋宣

東成瀬村長 佐々木 哲男

常務理事
古谷勝

理事秋田市長穂積志

北秋田市長
津谷永光

湯沢市長
齊藤光喜

にかほ市長
横山忠長

横手市長 高橋大

美郷町長
松田知己

秋田県医師
大野 忠

盜事龜角市長見玉

五成目町長
度
梶
彦兵衛

事務局長
伊藤 章

外
職
員
一
同

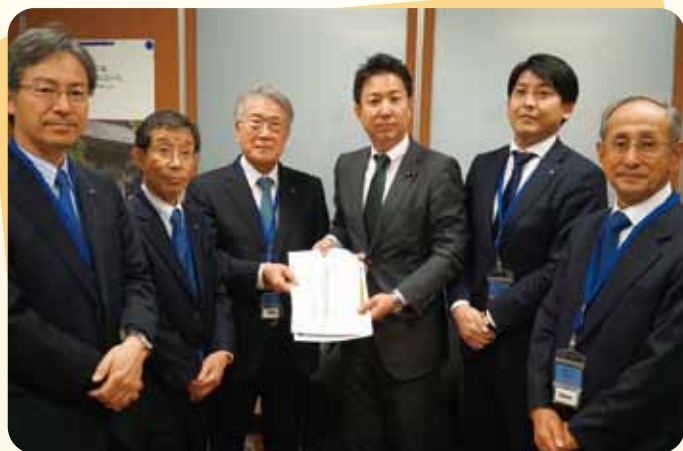
医療保険制度一本化の早期実現など10項目を採択

国保制度改善強化全国大会



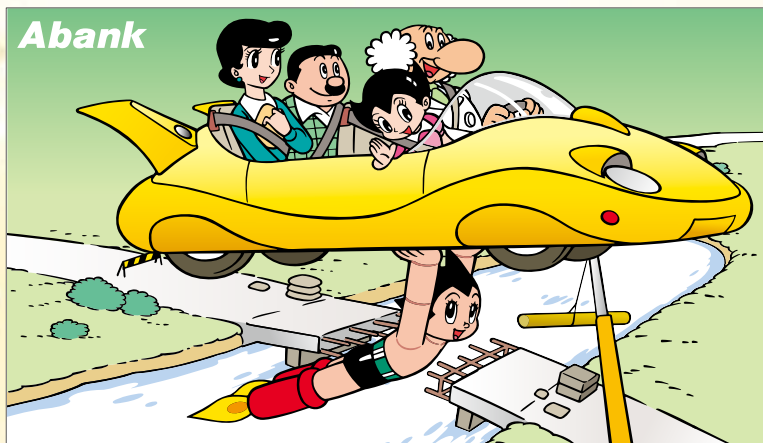
国保制度改善強化全国大会

国保中央会など国保関係9団体は11月17日（木）、東京都「明治神宮会館」において「国保制度改善強化全国大会」を開催し、本県からは加藤理事長（八峰町長）をはじめ役員5名、各地区協議会から10名を含む、30名が参加した。はじめに国保中央会岡崎会長（高知市長）が挨拶に立ち、平成29年度に投入予定の1700億円の公費が他の社会保障に振り向けられるのではないかと報道に触れ、「財政支援は国と地方の協議の場で決められた確約事項だ。国自らが約束を違えることは到底容認できない」と公



中泉議員に陳情する役員等

費投入を強く求めた。大会では、医療保険制度一本化の早期実現など10項目の決議を満場一致で採決し、終了後には市町村長を先頭に、決議の実現に向け、政府・政党関係者に集中陳情を展開した。本県では加藤理事長はじめ本会役員等が、地元選出国会議員を訪問して大会の趣旨を説明し、陳情活動をおこなった。そのうち、寺田衆議院議員、御法川衆議院議員、中泉参議院議員、石井参議院議員にはお会いして直接要望書を手渡すことができた。



あしたの備えや、
夢の実現。
あなたを支える
チカラでありたい。



あなたの10万馬力
秋田銀行
<http://www.akita-bank.co.jp/>

保険者紹介

三種町

豊かな自然と大地の恵み、 心ふれあう協働のまち

三種町は秋田県の北西部に位置し、日本海、八郎湖、出羽丘陵に面した自然豊かな町です。総面積は247.98平方キロメートルで、房住山に源を発する三種川がほぼ中央を流れ、八郎湖へと注いでおり、東部の丘陵地から西部の平地地までゆるやかに傾斜した地勢となっています。

じゅんさいの産地として古くから知られる三種町森岳地区には、200を超える沼が点在し、これらのじゅんさい沼には、“世界遺産・神山系”や出羽山系から流れこむ水や、湧き出る地下水などにより豊富な栄養素が満たされており、清らかで豊かな水でしか育たないじゅんさいの大きな支えとなっています。

国保の概況 (平成28年10月31日現在)

総世帯数	6,949世帯
総人口	17,471人
国保世帯数	2,754世帯
国保加入割合	26.11%

収納率(27年度決算)

・現年課税分	94.83%
・滞納繰越分	17.44%

国保の取り組み

特定健診の実施と医療費の適正化に向けて

本町の一人当たり医療費は、一般被保険者で約403千円(27年度と県内でも高い水準となっています。このため、特定健診の充実と医療費の適正化に向けた総合的な取り組みを行っています。

また、特定健診受診者を対象に「健康教室」を開催することで、生活習慣病の根幹である食事や運動についての正しい情報や知識を得る機会を提供し、検査数値の改善や疾病の予防が図られるよう取り組んでいます。

疾病の早期発見・早期治療のため、特定健康診査を受診者の自己負担なし(無料)で実施しているほか、基本的な検査項目とあわせて、独自の検査項目を追加して実施しています。未受診者に対しては受診勧奨を行っていますが、受診率が思うように伸びていないのが現在の課題です。

医療費適正化については、ジェネリック医薬品差額通知によるジェネリック医薬品の普及促進や、医療費通知によって被保険者自身の医療費の確認と関心を持つってもらうことのほか、第三者行為求償事務の充実強化及び療養費の審査強化などに取り組んでいます。

国保主管課長 からの一言

三種町健康推進課長
あお やま はや と
青山 勇人

健康長寿の町をめざして

平成27年度の本町国保の一人当たり医療費は、25市町村中9番目とやや高い。65歳以上の被保険者割合が10番目に多いから順当なところなのかもしれない。しかし秋田は短命県。健診質問票では、喫煙率17.2%と全国より3ポイント高く、1日の飲酒量3合以上8.2%は5.5ポイント高い。「生活習慣を改善してみようと思うか」の問いに、既に「取り組んでいる」が11.7%と県平均より13ポイント低く、「改善するつもりはない」が45.9%と12ポイントも高い。心が肉体を動かし、結果を引き寄せるという。健康長寿へ向け、心をゆさぶる施策を展開したい。

健康づくり推進員とともに

三種町は平成18年に琴丘町、山本町、八竜町が合併して誕生し、昨年10周年を迎えました。旧町の結核予防婦人会を母体にして、それぞれ名称は異なるものの健康づくりを担う地区組織として活動を行ってきたいましたが、合併を契機に三種町健康づくり推進員会に一本化し、事務局を三種町保健センターに置いています。なお、前身が結核予防婦人会であるため結核予防婦人会の活動を兼務しています。



現在、健康づくり推進員は408人おり、その活動は健診の申込書を兼ねた「健診受診予定表」の配布回収、健診受診の呼びかけや健診会場での協力、結核予防関連では複十字シール募金運動があります。また、健康づくり推進員の住む地区での健康教室開催時ではチラシの配布や呼びかけ、会場の準備などの協力、さらに自己学習として各種研修会への参加があります。

今年度の健康づくり推進員に限定した研修会は2回予定しており、これまで事務局と役員でテーマを決定していたものを、新しい試みとして健康づくり推進員のアンケート調査を行い決定することにしました。運動、食事、口腔の健康の3項目について尋ねる簡単な調査内容で、回答率は79・1%でした。回答者のうち女性が70%、年代は50代から70代が83%を占めていました。

結果の詳細は省きますが、週3回以上1回15分以上の運動を行っている人は41・5%、そのほとんどは散歩を含むウォーキングでした。食事でなにかしら気をつけている人は76・2%でした。また、自分の歯が20本以上ある人は44・2%で歯科検診を過去5年間で受けたことがある人は53・9%でした。この結果から、研修会のテーマを運動と歯科保健とし、すでに6月に歯科衛生士による「生涯にわたる歯と口腔の健康づくり」と題して講話と咀嚼しやく力判定検査などの実技を取り入れて開催しました。2月にはウォーキングに焦点をあてた内容の研修会を実施する予定です。

健康づくり推進員は、10世帯から30世帯に1人の割合で、自治会や町内会の推薦や信任を受け選出されてきています。また、推進員は居住地を中心に地域住民と様々な関わりを持って生活しており、推進員の健康づくり活動は、町民の健康づくりに大きな影響を与える存在です。行政としては、町民一人ひとりが健康意識を高められるように支援するとともに、推進員が地域住民の健康づくりの核となるように、育成していきたいと考えています。



五穀豊穡・無病息災を願い、上岩川勝平地区で毎年2月上旬に開催される小正月行事「勝平鳥追い・雪中田植え」は、200年の伝統を誇ります。

キャッシュカードとクレジットカードがこの1枚でご利用できます

Bright One

ブライトワン



（北都）ブライトワン
WAONカードが
ご利用いただけます

©当社が割賦販売法に基づき加入している指定信用情報機関は株式会社シー・アイ・シーです。

特典
1

ATM時間外手数料をキャッシュバック!

当行ATM時間外手数料、他行ATM時間内手数料を月3回(最大324円)キャッシュバック!
(半年分まとめて口座にお振込みいたします)

特典
2

初年度年会費無料! (ゴールドカードは除く)

1年間のショッピングご利用金額が10万円以上の方、または、携帯電話料金を(北都)ブライトワンでクレジット決済された方は
2年目以降も年会費が無料となります。

特典
3

銀行取引でもポイントがたまる!

お買い物のお支払いだけでなく、北都銀行との取引でもポイントがたまります!

さらにプラスで
たまったポイントを
WAONポイントに
交換が可能!

オートチャージ(入金)機能が付いた
専用WAONカードがご利用いただけます!

お客さまを知る。地域に伝える。

北都銀行

A MEMBER of FIDEA GROUP

(H28.2.1.現在)

連 合 会 TOPICS

連合会行事については HP をご覧ください www.akita-kokuhoren.or.jp

厳しい財政状況を踏まえ、効率的な運営に努める

全県国保等主管課長会議

本会は、平成29年度事業計画(案)及び予算(案)についての説明のため、全県国保等主管課長会議を11月25日(金)、市町村会館大会議室において、27保険者2広域市町村圏組合から38名の出席のもと開催した。

はじめに主催者挨拶で本会古谷常務理事が挨拶に立ち、「被保険者数が年々減少し、それに伴いレセプト件数も減少し、さらに、保険者等のネットワークの情報セキュリティ強化等に伴う新たな負担等が増加している。そのため、平成29年度予算編成における財源の確保が難しくなり、手数料等を引き上げざるを得ない状況となっており、保険者のご意見等をもとに検討・整理し、本日提案させていただきたい」と述べた。

続いて来賓挨拶では、秋田県健康福祉部長寿社会課千葉課長が、国保運営方針の策定状況や、事業費納付金について、平成28年10月11日に厚労省から配布されたシステムによる試算の結果に触れ、「今後はこの試算結果を基に、事業費納付金の市町村毎の按分方法や激変緩和措置の在り方について協議を行っていきたい。事業費納付金及び激変緩和措置については、今後の協議が本格的な議論となるのでご協力をお願いする」と述べた。

会議では事務局より、平成29年度の事業計画及び当初予算等について、「保険者の負託に応え、審査支払機関として国保制度改革に的確に対応する」などとした基本方針のほか、実施事業や負担金、審査支払手数料、委託料等について説明し、協議をおこなった。特に手数料等については、収入の減少や新たなシステム関連経費に伴う負担等により29年度から引き上げをしなければならぬ状況を説明し、理解を求めた。



県長寿社会課千葉課長



出席者

保健活動実務者のスキルアップをめざす

平成28年度秋田県市町村保健活動連絡協議会研修会

本会は、市町村保健活動連絡協議会と本会の共催により、市町村保健師等の地域保健福祉活動推進に当たる方を対象に、専門的な知識の普及と技術の向上を図る研修会を行うことで市町村の保健活動の推進に寄与することを目的とした平成28年度秋田県市町村保健活動連絡協議会研修会を11月14日(金)、市町村会館大会議室において82名の出席により開催した。

はじめに主催者挨拶として秋田県市町村保健活動連絡協議会西宮会長が「私たちの保健活動は年々多様化・複雑化し、私たちへの期待も高まっていると同時に業務が押し寄せてきているようにさえ感じられる。研修会が終わるころにはコリがほぐれ、会話を弾ませながらお帰りいただけることを祈念する」と述べた。

研修会では、「困難ケースへの対応—支援者が燃え尽きないために—」と題し、常磐大学大学院心理臨床センター秋山邦久教授が、続いて「ケアする人の心と体のケアと関係づくり—自分でいいんだ！貴方でいいんだ！が解り、現場で活かせる自分づくり—」と題し、一般社団法人セルフアドヴァンス協会水科江利子代表理事がそれぞれ講演した。



西宮会長



秋山邦久教授



水科江利子代表理事

晴れの栄誉に輝く

平成 28 年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰

厚生労働省は、国保事業への永年にわたる顕著な功績を称え、平成28年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰の127名の被表彰者を決定し、本県からは秋田県国民健康保険診療報酬審査委員会委員の豊島至氏が受章されました。心からお慶び申し上げますと共に、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

診療報酬審査委員会委員 豊島至氏



豊島 至 氏

平成 28 年度国民健康保険中央会表彰

国民健康保険事業及び介護保険事業の発展に長年にわたり貢献された診療報酬審査委員等を対象とした、平成28年度国民健康保険中央会表彰被表彰者が決定されました。

本県における被表彰者は次のとおりです。受章された皆さまに心からお慶び申し上げますとともに、今後益々の御活躍をお祈り申し上げます。

診療報酬審査委員会委員 小棚木均氏

診療報酬審査委員会委員 佐々木範明氏

診療報酬審査委員会委員 後藤時子氏



小棚木 均 氏



佐々木 範明 氏



後藤 時子 氏

こくほ健康フォトコンテスト 入賞作品8点が決定！

健康への想いあふれる、さわやかな作品が集まりました

国民健康保険を将来にわたって安定的で持続可能な制度にするため、国民健康保険制度に対する被保険者の理解と、健康に対する意識の高揚を図ることを目的とした写真コンテストを開催したところ、県内外から44作品が寄せられました。

今回は残念ながら最優秀賞に選ばれた作品はありませんでしたが、健康への想いあふれる力作揃いでした。

※入賞者については本会HPに掲載しています。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

www.daiichisankyo.co.jp

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。

美味しく低カロリー 「コクホ食堂」 ～お弁当編～

今月のテーマは 「正月太りを早めにリセット」

食べ過ぎた胃腸を労わる 協力:公益社団法人 秋田県栄養士会

長芋の磯巻き



栄養士さんの
ポイントアドバイス



地域活動職域事業部
管理栄養士
よしだ のりこ
吉田 紀子

山芋(長芋)のアミラーゼは消化と吸収を助け、ムチンは胃粘膜を保護します。糖質の吸収を遅らせる効果も。但し熱に弱いので効果を充分得るには生食をおすすめします。

お弁当を持って
出かけよう

旬の食材で
美味しく胃腸を労わる

☆☆お弁当の組み合わせとして☆☆

黄飯(クチナシご飯)
鶏胸肉の塩麹焼き
長芋の磯巻き
レンコンとツナ缶ブロッコリーの煮もの
人参とフルーツのはちみつ酢煮

- 1 長芋の皮をむいたら酢水につけ軽くふき取る。薄切りしたあと少しずつずらして倒し、端から細くせん切りして白だしを振りかけ味を付けておく。
- 2 紅ショウガを青じそでくるんでおく。(3本)
- 3 巻きすの上のにりを広げ、巻き終わりの2cm残して鰹節を敷きつめる。その上に①の長芋をスケッパーかフライ返しですくい、出来るだけ横に向くように置き、巻き終わりを3cm程度残すその上に②をのせ、海苔巻きのを頭で巻く。
- 4 巻き終わりに水を少し塗って止め、巻き終わりを下にして落ち着かせ。適当な大きさに切る。

材 料 (2人分)

長芋70g
白だし小さじ1
青じそ3枚
せん切り紅ショウガ10g
のり1/2枚
鰹節1袋

栄養価 (1人分)

エネルギー **35kcal**
たんぱく質 2.5g
脂質 0.1g
塩分 0.8g

連合会行事予定

2月 — February —

- 9日 第3回理事会 場所:市町村会館5階
- 24日 平成28年度国保事業功労者表彰式並びに
第123回通常総会 場所:市町村会館5階
- 24日 第4回理事会 場所:市町村会館5階



Better Health, Brighter Future



タケダから、世界中の人々へ。より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社